

笑顔かがやく光っ子

みんなで育てる光っ子

学校便り

第293号
平成24年3月1日

練馬区立光が丘第八小学校
校長 鈴木 隆志

「のりしろ」の大切さ

校長 鈴木 隆志

例年に比べて寒さの厳しい2月でしたが、春を告げるコブシの白い花が、今年も光八小の校庭で、美しく咲き始める頃となりました。このコブシの木は、平成元年、本校の開校を記念して植えられた樹木です。今年度、光八小は23年目の歴史を刻んだ一年でした。年度途中の転入生を迎え、今では250人の元気な光っ子たちが通う学校です。

学校では、PDCA（Plan：計画、Do：実行、Check：評価、Act：改善）サイクルに則り、年度末反省から新年度計画への作業を進めています。年度末反省としては、保護者・児童へのアンケート、学校としての自己評価、学校評議員による学校関係者評価を実施しました。今年度は、東日本大震災の経験と教訓を生かし、災害安全に関する安全教育及び安全管理、保護者や地域との連携について、大きく見直しをしています。引き取り人登録や集団登校・集団下校については、従来のやり方に改善を加えた形で、お願いをさせていただくことになります。（新年度早々にお示しします。）

今年度から新年度への橋渡しでは、「のりしろ」が大切であると考えています。学校組織としてももちろんですが、進級・進学する子供たちにとっても大切なことです。例えば、現5年生は、就学時健診のときに新1年生のお世話をしました。1月に入ってから、光っ子活動のお正月集会や代表委員会のユニセフ募金等でイニシアチブを取ったり、新年度クラブ活動の発足に向けて準備をしたり、地区班編成で新リーダーになったりと、卒業する6年生からのバトンタッチの「のりしろ」の活動に取り組んでいます。

新年度、学校のきまりの中で、「登校時間」について改善をします。これまでは「8:15～8:25」が登校時間として提示されていました。実態ではもっと早くから登校し朝遊びをしています。朝遊びの様子を見てみると、体力の向上や友達との良好な関係づくり、さらに異学年との豊かな交流に大きな効果があることが分かります。朝遊びの時間をきまりの中できちんと位置付け、光っ子たちのよさを伸ばしていこうと考えました。そこで、登校時間を「8:00～8:20」と改めます。8:00～8:15は朝遊びの時間です。昇降口から教室に向かうのは8:10からとし、8:15のチャイムでは全員教室に入ります。従って、集団登校時や雨天時など朝遊びができない日には、8:10を目安に登校することとなります。子供たちには、早過ぎず、また遅刻せずに登校ができるよう、各御家庭でも、家を出る時間について今一度確認をお願いをします。

もう一つ、トイレのサンダルを廃止します。学校のトイレは、将来的にはドライ化・洋式便器化が進んでいきますが、現状でもサンダルを使用しなくても衛生が保てることから、上履きのままトイレを使用することに改めました。

この二つのきまりについては、3月を「のりしろ」の期間として、今日から実施をしていきます。なお、すでにお知らせをしていましたが、保護者用の靴箱が昇降口主事室前にも設置されています。保護者会や学校公開等の際は従来どおりの靴箱ですが、その他の用事で来校した際は、受付の名簿が設置されているところからお入りいただくと便利です。

「のりしろ」は、表からは見えないものですが、人と人とをつなぐためにも、人と物事とをつなぐためにも、見えないところでしっかりと役目を果たしています。ですから「のりしろ」を機能させるには、いかにコミュニケーションの力を身に付けていくかが大切になります。

子供たちには、「心ののりしろ」をもたせたいと考えます。読書をしたり音楽を聴いたり、家族との団らんを楽しんだりすることで、「心ののりしろ」ができ、明日への活力・元気につながります。心にゆとりをもって今日と明日をつないでいく、そんな営みこそが、人と人とをつなぐ、人と物事をつなぐ『絆』（コミュニケーション）を強めていくのです。